

花咲く三春町

福島県のほぼ中央に目指す三春町は配置していた。ここでの一年のスタートは三春だるま市から始まる。三春だるまは小さいものは5~6cm、大きいものになると1mにもなる。そして最初から目が入っていて頭は平ら。見るからに東北の美男子である。祭りには三春太鼓やひょっとこ祝い踊りも披露され数多くの露店が軒を連ねる。

3月になると梅の花が咲き、4月には水芭蕉やカタクリの花、そして中旬から下旬にかけて待望の春爛漫に町中が桜一色に染まる。5月の端午の節句にはこいのぼりや武者幟が掲げられる。そして花まつりの稚児行列が旧町中を練り歩く。

田園地帯が美しい三春は5月中旬に田植えが行われる。6月の梅雨入り、そして七夕となり、梅雨明けの夏まつりでは盆踊りや花火大会。ここには都会では味わえない素朴な中に生きる喜びと楽しみがあった。それは長い歴史によって住民の中から今日まで受け継がれてきた、人間の智慧と生きる糧によるものだ。

2011(平成23)年3月11日14時46分18秒。東日本大震災が発生。これは日本の観測史上最大の地震であった。岩手県から茨城県までの海岸線を中心とする南北約500kmの周辺に甚大な被害をもたらした。これより5年後に警視庁は死者15,894人、重軽傷者6,152人、警察に届け出があった行方不明者2,561人と発表した。未曾有の大災害であった。

悲しい出来事ではあったがこれらに負けてはいられない。三春町は地震にも福島原発にも負けず希望の光を求め続けて、今年も元気に美しい花がいっぱい咲く春を迎えている。これまで先人が伝えてきた伝統行事を絶やすことなく力合わせて。



撮影 2016年春

